

### (3)誰もが生きる喜びを持てるまちづくりを進める

#### ①高齢者の福祉の充実と能力活用を進める

● 高齢者の社会参加と生きがいづくりを促すため、生涯学習機会の提供や高齢者相互の交流、就業機会の増を図るとともに、老人クラブ連合会、シルバー人材センター、健康福祉大学、各種ボランティアグループ等に対し引き続き支援します。

● 福祉車両を使用しなければ外出できない要介護高齢者等に対して、引き続き社会福祉協議会及び民間事業者による外出サービス支援を行います。

#### ②円滑な介護保険制度の推進を図る

● 第3期介護保険事業計画の2年次となる本年度は、社会福祉法人による介護保険サービスの基盤整備（グループホーム、小規模多機能型居宅介護、介護予防拠点施設）に対し積極的な財政支援を行います。また、改正介護保険法に基づき設置した地域包括支援センターを核として、一般高齢者、特定高齢者（より介護に近い状態の高齢者）に対し保健・福祉・医療との連携による各種健康事業を充実するとともに軽度の要介護者（要支援1・2）に対する支援を積極的に取り組みます。

#### ③障害者の福祉の充実と社会参加を進める

● 昨年度策定した「朝来市障害者福祉長期計画」に基づき、障害者福祉施策の推進に努めます。

● 障害者支援サービスは、障害者自立支援法へ移行したため、該当者への周知

を的確に行うことにより、サービス利用に支障のないように努めます。

● 障害者作業所への支援と、障害者社会参加促進事業等の充実を図り、障害者の自立支援に努めます。また、障害児を対象とした放課後クラブ「YOU・愛センター」の活動を支援します。

#### ④市民の社会生活を支援する

● 国民健康保険及び老人保健は、医療給付費の増加傾向を受け、より厳しい財政環境にあります。疾病予防、適正受診等の啓発活動を強化し、さらには、制度への理解を求めながら、ともに健全運営に努めます。

● なお、現行の老人保健制度にかわって、平成20年4月からスタートする「後期高齢者医療制度」に円滑に移行していくよう万全を期します。

● 乳幼児医療補助制度は、少子化対策の一環として、本年4月から、乳幼児等医療補助制度に改め、対象者を入院・通院とも、現行の義務教育就学前までを小学3年生まで拡充します。また、小学4年生から6年生までの就学児童医療助成制度については、市単独で継続します。

● 国民年金事業については、引き続き、制度の普及啓発に努めます。

### 4心豊かな教育・郷育・共育のまちづくり

#### (1)学校教育、幼児の保育、教育を充実し、頼もしい次世代を育てる

##### ①一貫性のある教育体制をつくる

● 保護者の保育に対する不安や負担の軽減を図るため、保育所での子育て相談や一時保育の充実を図ります。

● 保育所及び幼稚園について、平成19年度に糸井小学校区で認定こども園を試行実施します。また、平成20年度以降に市内全域で幼保施設の連携による就学前児童の一貫した保育・教育の実施に取り組みます。

● 保幼・小・中の連携に努め、校種間の交流を図ることにより、一貫性のある教育体制の確立に努めます。また、若者の地域への定着と地域の教育レベルの向上を目指し、高等学校との連携を推進します。

##### ②学校園と地域の結びつきを深める

● 保護者や市民の期待に応えていくため、学校運営の状況について学校評価を行い、地域に開かれた学校・園づくりを目指します。

● 全小中学校で環境教育と各学校の特色を生かした教育活動を推進するため、オンラインワンスクール事業を拡充します。また、学校園・家庭・地域社会が相互に連携を保ち、それぞれの教育機能を果たしていく中で、愛情と熱意を持つてふるさと朝来市の教育の充実を図ります。

● 地域の人材を活用するためスクール・ボランティア・システムを導入し、学校と地域住民の連携を深めます。

##### ③健やかな心身と確かな学力を培う

● 基礎学力の向上、多様な能力や個性の伸長等を図るため、「新学習システム」を導入するとともに、「自然学校」、「わくわくオーケストラ教室」、「トライやる・ウィーク」、「いきいき学校応援事業」等を通して『生きる力』の育成を図ります。

● 特別支援教育の推進、不登校や問題行動等の未然防止・早期対応に努めるた

め、スクールカウンセラー、スクールアシスタント、子どもと親の相談員等を配置し、教育支援及び悩み相談体制の充実を図ります。

##### ④安全で教育効果の高い環境をつくる

● 平成19年1月に発足した「朝来市立学校配置等検討委員会」において、今後の園児・児童・生徒数の推移を見据え、子どもたちの教育のあり方を重点的に置きながら、全市民的な視野に立って教育活動のあり方を検討します。また、安心して学べる環境を整備するため、学校施設の計画的な改修に努めるなかで、本年度は、梁瀬中学校の大規模改造・地震補強事業を行います。

### (2)郷土の魅力を活かした学習・文化・スポーツ活動を促進する

#### ①社会教育活動を充実する

● 生涯学習活動の基礎としての社会教育の果たす役割は大きく、常に既存の学級・講座の再点検をしながら、生涯各期の学習ニーズに対応した社会教育や郷土の魅力を活かした学習プログラムの展開を図ります。また、全市民的な観点からの公民館活動の推進体制を構築し、中央公民館、地区館などの体系化を検討します。

● 市民のさまざまな学習活動を促進する情報拠点としての図書館については、蔵書の充実整備、学校読書活動との連携など、図書館機能の強化を図ります。

#### ②生涯スポーツを振興する

● 市体育指導員と地区体育委員等が連携を深めながら、地域の人々の生涯スポーツ活動への参加意識の醸成に努め、生涯スポーツを楽しむ市民層の拡大を図ります。